

エコアクション21

環境経営レポート

34期

対象期間：2023年9月～2024年8月

株式会社 NEAT

発行日：2024年9月30日

改訂日：2024年12月3日

目次

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
(1) 名称及び代表者名	
(2) 所在地・交通手段	
(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業規模	
(6) 事業年度	
3. 認証・登録の対象範囲	5
(1) 事業者名	
(2) 対象事業所	
(3) 事業活動	
(4) 社用車の保有台数	
4. 実施体制(組織図)	6
5. 環境経営目標と達成評価・記録	7
(1) 環境経営目標	
(2) 達成評価・記録	
6. 環境経営計画と実績評価	8
7. 中期目標	9
8. 次年度以降の取組計画	10
9. 環境関連法規などの遵守状況の結果/取りまとめ	11
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12

1.環境経営方針

経営方針

最先端のシミュレーション技術や計測機器等をお客様へ提供させて頂くことにより、さまざまな製品の省エネルギー化への対応に貢献する

環境経営方針

当社は、最先端のシミュレーション技術や計測機器等をお客様へ提供させて頂いております。シミュレーションの導入は実機を作ることなく設計段階で課題を発見し試作の回数を減らす事であり、これは物資の消費・廃棄の回数を減らす事でもあり、お客様の環境課題の解決にも貢献するものです。シミュレータ販売の事業活動を通して、さまざまなお客様の省エネルギー化への対応に貢献することを目標としております。

環境負荷の低減に努め、周知し、全社一丸となって地球環境問題の改善と事業の発展を両立させ、積極的に環境への取り組みを推進し、重点分野としては直接的な環境貢献の影響が最も大きいと思われるシミュレータの販売を推進します。

前期は期の途中で基準期を変更したため、今期はコロナ禍後基準期で初めて1年を通す期となりました。世相の動きの激しい昨今ではありますが、継続して活動に取り組み、見守って参ります。

1. シミュレータをはじめとする環境への貢献度が高いと思われる製品の販売を推進します。
2. 二酸化炭素の削減を推進します。(電気、ガソリン)
3. 廃棄物排出量の削減を推進します。
4. 排水量の削減を推進します。
5. グリーン購入を推進します。
6. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
7. 以上の方針を全従業員に周知徹底します。

環境経営の継続的改善の誓約

社内で月一度の全社員での話し合いの場を設け(コロナ禍の場合はメールで代用)環境経営の継続的スパイラルアップをはかります。

代表取締役 加藤 雄高

制定日:2016年4月1日
改定日:2023年9月21日

承認	作成
	

2. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 NEAT
代表取締役 加藤 雄高
- (2) 所在地・交通手段
本社: 〒464-0067 愛知県名古屋市千種区池下1-11-21

 株式会社 **NEAT**

〒464-0067
名古屋市千種区池下1丁目11番21号
サンコート池下ビル2階
TEL : 052(764)3311 FAX : 052(764)3632

地下鉄池下駅から徒歩でのルート

① 地下鉄東山線池下駅 1番出口
改札を出て正面の交差点まで進む
↓ 26 m
横断歩道を渡り池下交差点まで進む
↓ 28 m
右折する
↓ 64 m
② 株式会社NEAT
サンコート池下ビル (旧ファースト池下ビル) 2 F



- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
環境管理責任者及び連絡先担当者 瀧谷 晃広
連絡先: TEL (052)764-3311 FAX (052)764-3632
- (4) 事業内容
リアルタイムシミュレーションシステムの販売
計測機器の販売及び保守

(5) 事業規模

年間売上高 (万円/税抜)	¥29,763
従業員数(人)	5
延べ床面積(m2)	41.5

※株式会社NEATの全組織・全活動が対象です

- (6) 事業年度
9月～翌年8月

作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2024/12/02 瀧谷

承認	作成
	

3. 認証・登録の対象範囲

(1) 事業者名

株式会社 NEAT

(2) 対象事業所

本社（全組織・全活動を対象）

(3) 事業活動

リアルタイムシミュレーションシステムの販売、計測機器の販売及び保守

(4) 社用車の保有台数

1 台

注記)

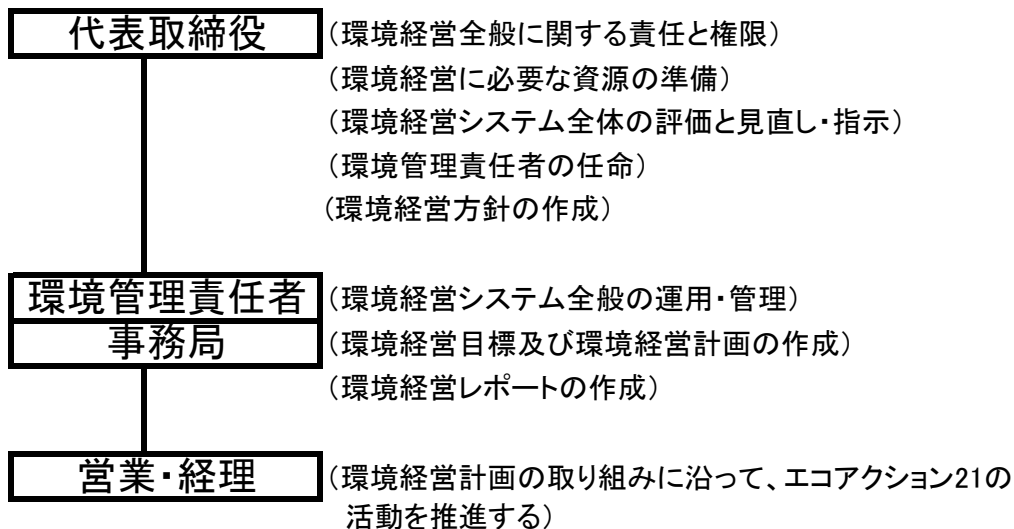
- ・ オフィスのエアコンはビル管理会社の所有物を利用（定期点検はテナントが行っている）
- ・ 廃棄物はビル管理会社が契約している（平田興業株式会社）各テナントは所定の場所に捨てている
- ・ 水道使用量はフロア単位での計上。データは期末にビルオーナーに依頼して取得している。2階という立地の為、部外者のトイレ利用によるブレ幅が非常に大きい。

作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2022/09/09 瀧谷

承認	作成
	

4. 実施体制(組織図)

「環境管理実施体制及び役割、責任及び権限」



作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2022/09/09 瀧谷

承認	作成
	

5. 環境経営目標と達成評価・記録

(1)環境経営目標

シミュレーションの導入は実機を作ることなく設計段階で課題を発見し試作の回数を減らす事であり、これは物資の消費・廃棄の回数を減らす事でもあり、お客様の環境課題の解決にも貢献するものです。シミュレータ販売の事業活動を通して、さまざまなお客様の省エネルギー化への対応に貢献することを目標としております。

(2)達成評価・記録

項目		年度	33期 (2022.9-2023.8) 基準期	34期 2023年9月～2024年8月				評価
				目標	実績	達成度		
一般廃棄物排出量削減	kg		110.19	108.87	76.17	143%		○
	対基準			▲1.2%	△43.0%			
ガソリン使用量削減	ℓ		186.81	184.57	229.27	81%		×
	kg-CO2		433.40	428.20	531.91			
	対基準			▲1.2%	▲19.0%			
事務所の電気使用量削減	kWh		12,779.00	12,625.65	13,840.00	79%		×
	kg-CO2		4,817.68	4,817.68	6,089.60			
	対基準			▲1.2%	▲21.0%			
二酸化炭素排出量削減合計	kg-CO2		5,251.08	5,188.07	6,621.51	78%		×
	対基準			▲1.2%	▲22.0%			
総排水量削減	m3		50.01	49.41	44.90	110%		○
				▲1.2%	△10.0%			
環境配慮型製品の販売推進	シミュレータ販売の事業活動を通して、さまざまなお客様の省エネルギー化への対応に貢献する							○
グリーン購入	物品購入時にグリーン製品が選択可能な場合は積極的に採用する様務める							○

※排水量削減 ビル一括管理の為、水使用量はビル全体分(他社含む)からテナントの面積比で算出
※中部電力ホームページ/算定方法・排出係数一覧/電気事業者別排出係数一覧/A0270/中部電力ミライズ(株)
の調整後排出係数(参考値)事業者全体を使用
「(参考値)事業者全体」の排出係数「令和5年提出用」より: 0.440 (kg-CO2/kWh)
URL: <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

※化学物質の使用は無い。
※産業廃棄物は無い。

A0270	中部電力ミライズ(株)	0.00043	メニューA	0.000000	99.85	係数が代替値の事業者からの受電のため
			(参考値)事業者全体	0.000440		

注) 総排水量についてはビル全体の総量の為、テナント数や人の増加によって単純比較はできない。
注) 評価欄にて、○: 達成、×: 未達成

作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2023/11/21

承認	作成
	

6. 環境経営計画と実績評価

環境活動計画の取り組み計画と結果

取り組み計画	達成状況	結果内容
二酸化炭素排出量の削減		

廃棄物の削減

分別によるリサイクルの推進	○	雑誌リサイクルが可燃ごみに入れられてしまうという事が1度あったが、トータルではよく意識付け出来ている。
ミスコピーの防止	○	良し悪しはともかく、リアルイベントが激減したことで印刷の機会も激減したまま。
裏紙の使用	○	社内用のメモ等は裏紙を使っている。
3S（整理・整頓・清掃）活動の実施	○	展示会などがあると、どうしても整頓が後回しになりがちだが、通常時は良く出来ている。
文書の電子化	○	良く意識付けされている。

ガソリン使用量の削減

不要なアイドリングストップ	○	エコ運転を心掛ける。
急加速・急停車の防止	○	車間距離を取り、エコ運転を心掛ける。
公共交通機関の利用	○	良く意識付けされている。
タイヤの空気圧の適正化	○	ガソリンを入れる毎にできるだけ点検をお願いするようにしている。
適正な車両整備の実施	○	ドライバーは運転中違和感がないかを意識して運転する様にしている。

水道水使用量の削減

節水の周知徹底	○	節水のアナウンスを継続する。
清掃時・手洗いの節水	○	よくできている。今後も継続する。
除菌用ウェットティッシュや除菌スプレーの使用	○	よく意識付けされている。

電力使用量の削減

不要照明の消灯	○	案件が多くなり多忙になると、どうしても照明をつける頻度と時間が多くなりがちだが、全体的にはよくできている。
空調温度の適正化（冷房時28℃、暖房時21℃）	○	全体の評価としては○判定だったとはいえ、今年の晩春から夏にかけての酷暑の酷さが取り組み理由の記録にも残されている。節電の為に体調を崩しては本末転倒だが、やれることはやっていこうという意識は、このまま継続したい。
空調フィルターの適正管理	○	定期的にフィルターの掃除は管理会社が行っている。
OA機器は不要自主電源OFF、省電力設定	○	よくできている。今後も継続する。

グリーン購入の拡大

事務用品のグリーン商品・エコ商品購入	○	エコマークのあるものを出来るだけ選ぶようにしている。
--------------------	---	----------------------------

環境配慮型製品の販売推進

WEBの更新によるPR、イベントでのPR、誠実な顧客サポートによるファンの獲得	○	活動としては積極的に出来たが、人手不足は否めない。特に技術サポートの人員増強が望まれる。
---	---	--

注）評価欄にて、○：達成 ×：未達成

※ 評価は「環境経営計画取り組み表」に準ずる（取り組み表内で×が4個以上の場合は、ここでも×とする）

作成日：2016/03/31 加藤(雄)
改訂日：2024/09/25 瀧谷

承認	作成
	

7. 中期目標

項目 \ 期		33期 (2022.9-2023.8) 基準期	34期 (2023.9-2024.8)	35期 (2024.9-2025.8)	36期 (2025.9-2026.8)	37期 (2026.9-2027.8)
一般廃棄物排出量削減	kg	110.19	108.8677	108.7575	108.6473	108.5372
	基準期比(%)		▲1.2%	▲1.3%	▲1.4%	▲1.5%
ガソリン使用量削減	ℓ	186.81	184.6	184.4	184.2	184.0
	kg-CO2	433.4	428.20	427.77	428.20	427.77
	基準期比(%)		▲1.2%	▲1.3%	▲1.4%	▲1.5%
事務所の電気使用量削減	kWh	12,779.00	12,625.65	12,612.87	12,600.09	12,587.32
	kg-CO2	4,817.68	4,759.87	4,755.05	4,750.23	4,745.41
	基準期比(%)		▲1.2%	▲1.3%	▲1.4%	▲1.5%
二酸化炭素排出量削減合計	kg-CO2	5,251.08	5,188.07	5,182.82	5,177.56	5,172.31
	前年度比		▲1.2%	▲1.3%	▲1.4%	▲1.5%
総排水量削減	m3	50.01	49.41	49.36	49.31	49.26
			▲1.2%	▲1.3%	▲1.4%	▲1.5%
環境配慮型製品の販売推進	シミュレータ販売の事業活動を通して、さまざまなお客様の省エネルギー化への対応に貢献する					
グリーン購入	物品購入時にグリーン製品が選択可能な場合は積極的に採用する様務める					

※排水量削減 ビル一括管理の為、水使用量はビル全体分(他社含む)
※中部電力ホームページ/算定方法・排出係数一覧/電気事業者別排出係数一覧/A0270/中部電力ミライズ(株)
の調整後排出係数(参考値)事業者全体を使用
「(参考値)事業者全体」の排出係数「令和5年提出用」より: 0.440 (kg-CO2/kWh)
URL: <https://ghg-santeikohvo.env.go.jp/calc>
※化学物質の使用は無い。
※産業廃棄物は無い。

承認作成

作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2024/10/18



8. 次年度以降の取組計画

取り組み計画

電力使用量の削減	ガソリン使用量の削減	廃棄物の削減
不要照明の消灯	急加速・急停車の防止	実態調査
クールビズ、ウォームビズの推進	不要なアイドリングストップ	分別によるリサイクルの推進
空調温度の適正化 (冷房時28℃、暖房時20℃)	公共交通機関の利用	ミスコピーの防止
ブラインド、カーテンの利用	タイヤの空気圧の適正化	裏紙の使用
空調フィルターの適正管理	適正な車両整備の実施	3S（整理・整頓・清掃）活動の実施
OA機器は不要自主電源OFF、 省電力設定		文書の電子化
水道水使用量の削減	環境教育訓等	グリーン購入の拡大
節水の周知徹底	環境教育訓練の実施	事務用品のグリーン商品・エコ商品購入
清掃時・手洗いの節水		
除菌用ウェットティッシュや除菌スプレーの使用		
環境配慮型製品の販売推進		
WEBの更新によるPR		
イベントでのPR		
誠実な顧客サポートによるファンの獲得		

作成日: 2016/03/31 加藤(雄)
改訂日: 2022/11/08 瀧谷

承認	作成
	

9. 環境関連法規などの遵守状況の結果/取りまとめ

法規制等の名称	該当する要求事項	関連による規制	該当する設備・項目	点検・測定頻度、 実施時期	遵守評価		
					証拠	判定	
廃棄物処理法 (名古屋市条例) 名古屋市廃棄物の減量 および適正処理に関する 条例	・一般収集業者の許可書確認(写し保管) ・産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証 写し保管、委託先の確認	12条3項、規則8条の 12条4項、政令6条の 2第3号	・一般廃棄物(紙・木くず・ 生ごみなど) ・産業廃棄物(金属類・ 廃プラ類・廃ガラス・)	・1回/年 ・契約書/許可書 につき 1回/年	許可書 契約書 許可書	○ テナントが対 応している 産業廃棄物 の排出は無 い	
市民の健康と安全を確保 する 環境の保全に関する条例	・自動車の使用に伴う環境への負荷の低減 (アイドリングストップ)	第110条(自動車を運 転する者の責務)	社有車	1回/月	ガソリン使用 量 リスト	○ ハイブリッド 車使用	
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品 化法)	・TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	43条、45条	TV、冷蔵庫	廃棄時	廃棄した時 の証明書 (あれば)	本年該当無 し	
小型家電リサイクル法 (使用済み小型電子機器 等の再資源化の促進に関 する法律)	携帯電話、デジカメ、パソコンの破棄	6条	携帯電話、デジカメ、パソコン	廃棄時	廃棄した時 の証明書 (あれば)	本年該当無 し	
省エネ法 (適用している法令では無 いが関係する事は取り組 む)	・省エネルギー法に基づき、対象となる事業所に対 し、エネルギー使用状況の定期報告と 省エネ目標達成のための中長期計画の作成 ・提出、エネルギー管理者の選任等を義務付けること により計画的・自主的なエネルギー管理の徹底	第7条の3	電気使用量 ガソリン使用量	・1回/年	電気使用量 計算表 ガソリン使用 量 毎月の各リ スト	貢献できた	
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択するよう努める	法5条	備品等	1回/年	購入リスト	貢献できた	
環境関連法規制の順守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。 なお、環境法規制への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。 作成日: 2016/4/25 改訂日: 2021/9/21 遵守評価日: 2024/9/27						承認	作成
					登録		
					遵守評価		

代表者	管理責任者
	

作成日 2020/11/14 瀧谷
改訂日 2024/10/18 瀧谷

10.代表者による全体の評価と見直し・指示

通年の活動を踏まえての管理責任者からの報告（環境経営レポートをベースに報告する）
管理責任者からの報告及び改善提案

対象の環境経営レポートの項目	管理責任者からの報告または評価	コメント
2. 組織の概要	前期から変更なし	－
3. 認証・登録の対象範囲	前期から変更なし	－
5. 環境経営目標と達成評価・記録	今期は廃棄物の判定が○でした。Mukesh君の退職の際に結構な量のゴミが出ていた印象があり、多少の懸念がありましたが、結果としては非常に良い結果でした。	退職など、通常と異なる状況での廃棄物の増加については事前の予見や大きく削減することが難しいのですが、良い結果となったのも日々の努力の積み重ねの成果だと思います。
6. 環境経営計画と実績評価	今期は指標を33期に変更しましたが、それによりガソリンと電気使用量と二酸化炭素排出量が×判定になりました。31期を指標としていた時と思うと極端に厳しくなりましたが、意識付けとしては良いでしょうから、まずはこれで様子を見たいと思います。	了解しました。
9. 環境関連法規などの遵守状況の結果	各員よく取り組みました。	了解しました。法令関係は更新されることがありますので、NEATに影響する部分で変更箇所があれば適用して下さい。
問題点は正／外部からの苦情	今期は、これといった問題点は上がりませんでした。	了解しました。
	今期の外部からの苦情はありませんでした。	了解しました。

代表者による見直し

対象の環境経営レポートの項目	コメント	変更の必要性
1. 環境経営方針	結果的に34期は全体としてはうまく回せたと思います。一方で、人員が減った事もあり、35期についてはそれも踏まえて社内活動を継続していく必要がありますので、効率化が図れる部分は今後も改善していきたいと思います。	頂いたコメントをシートに反映いたします。
4. 実施体制(組織図)	前期から変更なし	無
7. 中期目標	上記の改善提案で基準期に関するコメントもありましたので、実際に適用するかどうかは別途社内で相談するとしても、まずは一度見直しの検討をしてみたいと思います。	無
8. 次年度以降の取組計画	「WEBの更新によるPR」と「イベントでのPR」について、この部分の更新ができるということは会社としての活動においても新しい動きを継続しているという事なので、今後も毎月更新ができるように続けていきたいと思います。	了解しました。